

令和3年第1回神崎町議会臨時会

議事日程(第1号)

令和3年2月10日(水曜日) 午前10時49分開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定について

日程第3 議案第1号 令和2年度神崎町一般会計補正予算(第8号)

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員(10名)

1番	椿	等	君	2番	大原	秀雄	君
3番	高柳	智	君	4番	荒井	葉一	君
5番	鈴木	節子	君	6番	木内	直樹	君
7番	石橋	伸一	君	8番	高橋	正剛	君
9番	石井	正夫	君	10番	寶田	久元	君

欠席議員(0名)

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長 椿 等 君

教 育 長	椿 勇 君	総 務 課 長	久保木豊吉 君
総 務 課 主 幹	石井 達矢 君	町 民 課 長	浅野 憲治 君
まちづくり課長	金田 智 君	まちづくり課担当課長	鈴木 信成 君
保健福祉課長	廣瀬 裕 君	教 育 課 長	平野 悟 君
会計管理者 (出納室長)	明石 かほ 君		

職務により出席した者

事 務 局 長	高橋 誠一 君	書	記	花嶋 三永 君
---------	---------	---	---	---------

◎開会の宣告

○議長（石橋 伸一君） おはようございます。令和3年第1回神崎町議会臨時会にご出席いただき、大変ご苦労さまです。本臨時会も新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、議場でのマスク着用のご協力をよろしくお願いいたします。また、換気のため、傍聴者の出入口と議長席の後ろの扉及び議場左右の両扉を開放しますので、よろしくお願いいたします。

それでは、先ほど行われた議会運営委員会において、本臨時会の運営について協議した結果、会期は本日1日とすることになりました。議事運営につきまして格別のご協力をお願いいたします。

(午前10時49分)

◎開議の宣告

○議長（石橋 伸一君） ただ今の出席議員は10名です。定足数に達しておりますので、これより令和3年第1回神崎町議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本臨時会の議事日程はお手元に配付のとおりです。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（石橋 伸一君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定により、議長において、9番 石井 正夫議員、10番 寶田 久元議員を指名します。

◎日程第2 会期の決定について

○議長（石橋 伸一君） 日程第2 会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日1日限りとしたいと思いますが、ご異

議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者の声あり)

○議長(石橋 伸一君) 異議なしと認めます。よって、さよう決定しました。

◎日程第3 議案第1号の上程、説明、質疑、採決

○議長(石橋 伸一君) 日程第3 議案第1号 令和2年度神崎町一般会計補正予算(第8号)についてを議題といたします。

議案を朗読させます。

(事務局長朗読)

○議長(石橋 伸一君) 提案理由の説明を求めます。椿町長。

○神崎町長(椿 等君) おはようございます。それでは、議案第1号 令和2年度神崎町一般会計補正予算(第8号)の提案理由を申し上げます。

本予算案は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,000万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ37億1,900万円とするものであります。

その補正予算の概要を申し上げます。

歳入の主なものは、15款、国庫支出金では、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金として、1,611万円を計上いたしました。

20款、繰越金は、308万3,000円を計上いたしました。

歳出の主なものは、4款、予防費では、新型コロナウイルスワクチン接種事業として、接種体制の確保のため、予約・相談業務委託料や必要備品等の購入のほか、医療従事者等の先行接種分の委託料など、合わせて2,000万円を計上いたします。また、新型コロナウイルスワクチン接種事業につきましては、予約・相談業務委託料などの一部経費を翌年度に繰り越して事業を執行するとともに、地域経済活性化券交付事業につきましては、コロナ禍で期限までに利用することが困難なため、本年2月までの利用期限を延長し、次年度も利用できるよう、それぞれ繰越明許費を設定いたします。

よろしくご審議の上、ご賛同賜りますようお願い申し上げます。

○議長(石橋 伸一君) これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

10番 寶田議員。

○10番(寶田 久元君) 全協が延びちゃったために、全協で皆さんにお話、最初にしようかなと思いましたが、私は高柳議員にも声がハスキーじゃないか、町長には体

調を崩したのかと言われてましたが、6日に体調を崩して、保健福祉課長、廣瀬さんに即、電話しまして、PCRの検査をすぐ受けられる……、議会が10日だからちょっと行けないかもわからないからというわけで、廣瀬課長に相談しましたら、月曜日の朝に一番に来てくださいとあって、昨日、一昨日PCRの検査を受けて、陰性です。ただ、鼻声で皆さんには嫌がられるとは思いますが、取りあえず陰性ですから、今日、議会に出席しました。

それでは、質問に入ります。大体聞こえるかと思いますが、声がちょっとかれていますので。

まず、全協での説明ですが、優先順位、医療従事者、65歳以上、それは分かりますが、介護従事者はここには入らないわけですか。

○議長（石橋 伸一君） 廣瀬保健福祉課長。

○保健福祉課長（廣瀬 裕君） ただ今のご質問にお答えいたします。

介護従事者につきましては、医療従事者の後に行われる高齢者の接種の中で、高齢者施設等に従事される方も併せて接種を検討してくださいよということで国から受けておりますので、それに従いまして、各施設でどのような接種の体制を整えていくかご相談させていただきたいと考えてございます。

○議長（石橋 伸一君） 10番 寶田議員。

○10番（寶田 久元君） 廣瀬さん、すみません、この間はいろいろ病院を紹介してもらいまして、ありがとうございました。

接種時期ですが、クーポンを3月に配送するというわけですから、実際にはこれ、開始時期が4月になるわけですか。新聞ではもう2月中旬には、都市部を中心だそうですが、接種するわけですが、実際の神崎町での接種時期、開始はいつ頃になるわけですか。

○議長（石橋 伸一君） 廣瀬保健福祉課長。

○保健福祉課長（廣瀬 裕君） お答えいたします。

今、2月というお話、ございましたが、国からは2月に医療従事者を接種。当初、高齢者等につきましては、3月中旬というようなことでお話がありましたけれど、今現在、高齢者については4月1日以降、接種を始めてくださいというようなことで連絡を受けております。

町としましても、予約体制を整えて、4月中には接種を進めてまいりたいと考えてございます。ただし、接種するにはワクチンが手元にないと接種を行うことができませんので、国から明確なワクチンの配給時期、示されましたら、また広報等を活用し

まして、町民の皆さんにスケジュール等、ご報告させていただきたいと考えてございます。

○議長（石橋 伸一君） 10番 寶田議員。

○10番（寶田 久元君） 医療従事者が先だということで、これは県の事業でやるという先ほどの説明で、私はこれ、ワクチン1人当たり幾らぐらいかかるのかなど。新聞、テレビでも、マスコミでも、世界各国でも言っていないわけですが、先ほどの聞き漏れかもわかりませんが、2,200円というのは、接種1人当たり2,200円くらいでできるんですか。

○議長（石橋 伸一君） 廣瀬保健福祉課長。

○保健福祉課長（廣瀬 裕君） お答えいたします。

今現在、国から示されている接種の費用としましては、お話ありましたとおり2,277円ということでございます。これはワクチンの本体は恐らく含まれていない、ワクチン接種する事についての費用というようなことで示されてございます。

○議長（石橋 伸一君） 10番 寶田議員。

○10番（寶田 久元君） すみません、長くなっちゃって。そうしますと、ワクチンを打つのに、個人負担というのは全部、国持ちだと思いましたが、個人負担がかかるわけですか。

○議長（石橋 伸一君） 廣瀬保健福祉課長。

○保健福祉課長（廣瀬 裕君） 今回の接種につきまして、個人から負担いただくというようなことはございません。全て国持ちというようなことで今、国からは連絡を受けております。

○議長（石橋 伸一君） 10番 寶田議員。

○10番（寶田 久元君） あと1つ、2つにしますから。ファイザー社、アストラゼネカ、モデルナ社、この3つありますが、本町に来るのにはどれが来るんだか分からないでしょう。これが幾つ、これが幾つ。

それと、これで質問はやめますが、この1つと、これは総務課長ですが、繰越明許で、これはあと3割くらい残っている、特に飲食店のほうが5割くらいしかまだ進んでいないというんですが、全部の商品券、3つありますよね。それは4月以降、明許繰越だから4月はもちろん使えるわけですが、いつまでに期限は切るわけですか。

この2点でやめます。

○議長（石橋 伸一君） 廣瀬保健福祉課長。

○保健福祉課長（廣瀬 裕君） 最初に、私のほうからワクチンの種類についてお答え

させていただきます。

今、国から示されているものにつきましては、高齢者については、ファイザー社製のワクチンを各自治体に供給するというようなことで通知がされております。ですので今現在、ファイザー社製で高齢者の接種は進めてまいりたい。

その後、一般の方、基礎疾患を持った方につきましては、随時、国のほうからどういったワクチンが配給できるか、連絡が来るものと承知してございます。

○議長（石橋 伸一君） 金田まちづくり課長。

○まちづくり課長（金田 智君） 笑顔応援券の使用期限ということでございますけども、年内いっぱい、12月31日まで延期いたします。

以上でございます。

○議長（石橋 伸一君） ほかに質疑はございませんか。

5番 鈴木議員。

○5番（鈴木 節子君） 接種は原則、予約制ということなんですけれども、これは町内全部ばらばらなんでしょうか、それとも地区別になるんでしょうか。特に高齢者の方なんかは顔見知りの方がいたほうが不安が少なくなるように思うんですが。

○議長（石橋 伸一君） 廣瀬保健福祉課長。

○保健福祉課長（廣瀬 裕君） ただ今のご質問にお答えいたします。

従来、各種検診では、地区割等を設けて予約を受けておりますが、今回のワクチン接種につきましては、電話予約で地区割りは設けず、順番に電話を受けた段階で予約を受け付けるというようなことで考えてございます。

○議長（石橋 伸一君） 1番 椿議員。

○1番（椿 等君） 私は2点ほど質問させていただきたいと思います。

昨年から、コロナによって相当いろんな行事がなくなる、あるいは縮小する。本年に入っても、私の村でさえ神事が縮小され、参加者も大分、減っております。また、次年度の役員の方にもコロナ感染者が出たというような話もありました。

実は私自身の職場の相方も、自分のお宅の葬儀の際にコロナに感染してしまいました。その結果、取引先相手から、コロナのチェックをしないと取引できませんというようなコロナによる弊害も発生しました。

そこで質問なんですけれども、今回、コロナの発生が神崎町で13名というような報道がされておりましたけども、年代別の感染者、例えば小学生、中学生、あるいはそれ以下の保育園に通うような学校関連の感染者がいるのか、あるいは寶田議員がいて失礼になっちゃうけども、介護施設だとか病院で感染してしまった方が多いとか、

あるいは一般のごく普通の方がなっている、そのような分析がもしされていれば、その内容をお知らせいただきたい。

2つ目、去年の神崎町の5か年計画、何計画……、金田課長のところでやっている計画だと思うんですけども、その計画を見ますと、神崎町に何の不安がありますかという質問事項の中に、神崎町町民が一番抱える不安は何だ。医療ですよね。50%強の方が医療に対しての疑義を持っている。

今回、コロナで、2つの医療機関がございませけれども、その医療機関から医師、看護師が来るのではなく、千葉から来るというような話を聞いております。地元の医療従事者でなく千葉から来ることしかできない。このような状況を鑑みると、神崎町にクリニックがございませけれども、同等以上の医療機関を誘致する、あるいは町を挙げて、合同でも結構です、どちらかと合同でもいいんですけども、そのような医療機関をぜひ誘致していただける、そのような構想を町長はお持ちでしょうか。

この2点。

○議長（石橋 伸一君） 椿町長。

○神崎町長（椿 等君） じゃあ、まず私のほうから、医療機関のほうについて、構造的なものです、具体的に今、正式な構想というものはつくってあるわけではございませませんが、ただ、私も椿議員が言われるように大変心配しているところであります。

特に神崎クリニックは、町の中で唯一の大きな医療施設でございました。そういったところが、ここへ来てちょっとお医者さんの数も減ったり専従のお医者さんが減ってきたということで、大変心配しています。その辺のところ、私ども憂慮しているところでございませるので、実は経営者が替わりませしたので、その経営母体のほうとまたいろんなお話をさせていただいて、新しいものを誘致するよりは、今あるところを何とか充実させてくれないかというようなこともお願いしていきたいなど、こんなことを考えています。

以上でございませ。

○議長（石橋 伸一君） 廣瀬保健福祉課長。

○保健福祉課長（廣瀬 裕君） 町内の感染者数につきましては、2月5日現在、今、14名の方が感染されてございませ。年代等、ホームページのほうに年代、性別等につきましては掲載されてございませ。ちょっと手元にその資料がございませないので、年代別に何人の方が感染されているのか、すぐにお答えできませませんが、10代以下の方もいたと記憶してございませ。

○議長（石橋 伸一君） 3番 高柳議員。

○3番（高柳 智君） すみません、何点かございます。

まず、繰越明許の中の商工費、商工業者緊急支援事業3,000万円ということで、全体の補助金額が前回の補正で9,700万円だったと思います。そのうちの残りが3割ということで、3,000万円の数字だと思うんですが、その7割の中の説明で、飲食店券が50%だと。残りの共通券と小中業者券の割合を教えてください。

○議長（石橋 伸一君） 金田まちづくり課長。

○まちづくり課長（金田 智君） お答えいたします。

まず、全加盟店共通、赤い券、こちらは現在86%ご使用いただいております。2月8日現在ということで、直近の数字になります。それから中小企業用、青い券、こちらが72.5%となっております。それと飲食店、全員協議会の中では50%ということでしたけども、現在57%まで使用率は上がっております。

以上でございます。

○議長（石橋 伸一君） 3番 高柳議員。

○3番（高柳 智君） ありがとうございます。

そうしますと、前回の12月議会で一般質問させていただいたんですけれども、延長はいかがですかということで、今回延長ということで、12月31日までですか。大変いいことだと思います。

もう一点、飲食店さんは現在、自粛において県と国等から支援金が1日6万円でしたっけ、等々出ている実態もございます。それはいいのか、悪いのかではなくて、それだけ飲食店さんは手厚く支援がされているのかなと思うところなんですけど、それに引換え中小の小売店さんは依然として厳しい状況なのかなと思われるのですが、全てを共通券化するというようなお考えはないでしょうか。

○議長（石橋 伸一君） 金田まちづくり課長。

○まちづくり課長（金田 智君） お答えいたします。

12月議会でもお答えいたしましたけども、現在のところは考えておりません。

以上でございます。

○議長（石橋 伸一君） 3番 高柳議員。

○3番（高柳 智君） 分かりました。

続きまして、新型コロナワクチン関係なんですけれども、全協では時間がなくて聞けなかったんですが、歳入歳出を見ますと、ワクチン接種の事業委託料が、国庫イコール歳出。ですからこれは100%国庫負担金ですよ。80万7,000円がワクチン接種事業委託料ということで、歳出のほうで100%。ということは、これは医療従事者分で

すよね。

それで医療従事者は3月までにやるので、今回補正だと思うんですけども、それ以外の高齢者分、あとそれ以外の方の部分も同じように歳出で出して、国庫で入ってくるような形なのでしょうか。それであれば、その費用については来年度の当初予算、または補正対応となるのでしょうか。

○議長（石橋 伸一君） 廣瀬保健福祉課長。

○保健福祉課長（廣瀬 裕君） ただ今のご質問にお答えいたします。

今ご質問あった件、ワクチンの接種費用についてだと思うんですが、今回、接種費用につきましては、医療従事者分のみということで、この後、始まります高齢者、一般の方、基礎疾患を持った方につきましては、令和3年度の当初予算のほうで計上させていただく予定でございます。

○議長（石橋 伸一君） 3番 高柳議員。

○3番（高柳 智君） 分かりました。

それで、これは医療従事者の見込みで、人口の3%でしたっけ。3%ですね。そうすると実際の医療従事者の数というのはまた別だと思うんですけども、が出たら、実数になって、そうすると上記以外、高齢者以外の数も変わるので、見込みというようになっているのでしょうか。

○議長（石橋 伸一君） 廣瀬保健福祉課長。

○保健福祉課長（廣瀬 裕君） お答えいたします。

医療従事者の数につきましては、177名ということで想定してございます。こちらの数字につきましては、国からの指針、医療従事者の数のほうは人口の3%を見込んでくださいよというような指針がございましたので、それに基づいて計上させていただいてございます。

また、今回のワクチン、接種することにつきましては、個人の判断、その人が打ちたいか打ちたくないかというようなことで、接種を受けていただくような形となっております。そういった中で、町民の方6,000名弱いらっしゃいますけど、必ずしも全員の方が接種するとは限らないと思いますので、そういった中で、医療従事者の分についての来年度分、対応させていただきたいと考えております。

○議長（石橋 伸一君） 3番 高柳議員。

○3番（高柳 智君） 最後の質問です。通常業務にプラスして、今回のこのワクチン接種等が来て、何度も言いますけれども、職員数少ない中、そしてまた今はコロナ対応で、役場のほう、時差出勤もされていると思うんですが、非常に大変だなと思うの

ですが、担当者を新しく人事異動とかで別に設けたりしているのでしょうか。

○議長（石橋 伸一君） 久保木総務課長。

○総務課長（久保木 豊吉君） 高柳議員のご質問にお答えいたします。

ワクチン接種に関しましては、国のほうでもワクチンの特命大臣を定めて、事業を進めているという状況でございます。

本町においても、ワクチン、最優先という形で、全庁挙げてこの事業を履行したいと考えております。そういうことから、保健福祉課のほうの事業推進のために人的な確保ということで、2月1日付で人事異動を行いまして、ワクチンの接種強化のほうを1名増員という形で進めたいと考えております。

以上です。

○議長（石橋 伸一君） 4番 荒井議員。

○4番（荒井 葉一君） 先ほど、取りあえず4月以降はファイザー社というお話で伺っていますけど、これは1バイアル当たり6人分ですよね。6回分と書いてあるんですけど、その場合、例えば1日200人、250人やって、当然半端が出ますよね。その場合、その半端は、順番というのほどのような形になっているのでしょうか。海外によっては別な、打ちたいという方がいて、別なところで……、ところというのはおかしいですけど、日本の場合は、今回、神崎の場合、どのようなにするんですか。

○議長（石橋 伸一君） 廣瀬保健福祉課長。

○保健福祉課長（廣瀬 裕君） お答えいたします。

荒井議員ご心配されるとおり、今回、ファイザー社製につきましては、1バイアル、1瓶当たり当初6人ということで指針、出ておりましたけど、昨日の報道等では、5人分、5回分というようなことで報道されております。まだ町のほうまで国・県からその辺の通達、来ておりませんが、できるだけ5の倍数で予約を受け付けるようにして、ワクチンの無駄が生じないように接種を進めてまいりたいと考えております。

どうしてもやはり残ってしまう分が出てくると思いますが、その辺につきましても、国・県に問合せしまして、町の職員なんかが一般のほうで受けるようになると思いますが、急遽、1人、2人受ける状況ができるのであれば、一般の方、町職員等でその分、埋め合わせして、できるだけワクチンは無駄を発生しないように接種を進めてまいりたいと考えてございます。

○議長（石橋 伸一君） 2番 大原議員。

○2番（大原 秀雄君） ワクチンについてちょっと質問したいんですけども、65歳以上の高齢者が、この数字だと2,038人ですか、いらっしゃいます。それで、1日当

たりのワクチンの接種が200から250名という形になって、今、こういうふうには報告を受けておりますけれど、ワクチンが来た場合に、何時から、要は普通の9時－5時の接種という形で入っていくんでしょうけれど、やはり早急に高齢者にワクチンは接種しなきゃならないんじゃないかと思っております。そういうところから、土日のワクチン接種というのは考えていらっしゃるんですか。

○議長（石橋 伸一君） 廣瀬保健福祉課長。

○保健福祉課長（廣瀬 裕君） ただ今のご質問にお答えいたします。

土日の接種ということでございます。町としましても、高齢者の方もそうですし、一般の方は特に勤められている方もいらっしゃいますので、土曜日、日曜日いずれもお休みの日も接種の日にちを設定して、接種、進めてまいりたいと考えてございます。

○議長（石橋 伸一君） ほかに質疑はございませんか。

6番 木内議員。

○6番（木内 直樹君） ワクチン接種について、福祉課長、申し訳ないです。6番議員がいると会議が長くなってしょうがないとは言わないでください。

接種の体制について、1つだけご質問します。当初報道によりますと、医師は2名、看護師が5名というような1会場のスタッフの予定のようにマスコミで聞いておったんですが、1名と2名のシフトということは十分考えた結果だと思いたしますが、せんだって川崎市で模擬接種をした時、お1人3分で済むという想定で進んだけれども、一番長い方は26分かかったと。それを事前に防ぐために、看護師さんを増やして事前問診をして、疾患ありますか、血圧大丈夫ですかというようなことで、接種の時間を短縮するために5名の看護師というような報道もあったように思いますが、3分で単純計算して200人をやりますと10時間かかりますが、ちょっと可能とは思えない数字です。

それと、15分から30分の接種後の待機時間、どう見ても30分は必要な報道がありますが、そのローテーションから見て、この200から250人が医師1名、看護師2名でやれるとはちょっと疑問がありますが、その辺のところ、よろしくお願いします。

○議長（石橋 伸一君） 廣瀬保健福祉課長。

○保健福祉課長（廣瀬 裕君） ご質問にお答えいたします。

確かに木内議員ご心配されるように、川崎で実証実験された際には、1人当たり3分ぐらいかかったような話。1時間に30人程度というような話だったかと思っておりますけど、そういった話も伺っております。

ただ、その内容としましては、予診票の確認に随分時間がかかったというようなことも伺っております。町としましては、こちらの計画としまして、今、医師1名ということで考えておりますが、委託先のほうには、医師が確保できるのであれば2名でもお願いしたいというようなことでお願いしております。

ただし現状としまして、全国一斉にこのワクチン接種、進めるというようなことで、各地で医師不足、看護師不足が発生しているような状況だとも聞いております。

また、1人当たりの医師の手当も大変この時期、高騰するというようなことも伺っております。そういった中で、できるだけコストを抑えながら、効率的に接種を進められるように、この後、委託先のほうと協議を進めながら、早急に接種が完了できるように努めてまいりたいと考えてございます。

○議長（石橋 伸一君） そのほか質疑はございませんか。

10番 寶田議員。

○10番（寶田 久元君） 今までの審議を聞いていますと、1日200人から250人で、2回打つ。4月以降。そうなってくると、6月かそのくらいにずれ込む。6,000人全部接種するのはずれ込むんだと思います。

それで、私が冒頭、話をしましたが、PCRの検査、今日の新聞は、私は費用はかかっていますが、松戸市なんかは全額、市でPCRの補助を出す、検査を出すといいますが、町としては、まだ私みたいにこのような鼻声で不安に思う人もある。完全にワクチンが打ち終わるまでは、まだまだ先がかかる。町としてもPCRの補助金は考えていませんか。

○議長（石橋 伸一君） 廣瀬保健福祉課長。

○保健福祉課長（廣瀬 裕君） ただ今のご質問にお答えいたします。

県内でも自治体ごとによって補助を行ってPCR検査を行っているところがございます。そういった中で、町としましては、香取郡市の医師会のほうにPCR検査のほう、自主的なPCR検査が可能かどうか問合せも行ってございます。香取郡市の医師会としましては、今、コロナの対応等や通常来られている方の対応等で大変忙しい中で、自主的なPCR検査を受けるのは大変厳しいというような状況でございました。

なかなか町が補助するとしても、受けられる医療機関が少ない、特に高齢者の方が通えるような香取郡市の医師会のほうでちょっと厳しいというような回答もいただいておりますので、この後の状況を踏まえながら、PCRの検査、できるのかどうかまた検討してまいりたいと考えてございます。

○議長（石橋 伸一君） そのほか質疑はございませんか。

お諮りいたします。質疑を終結し、討論を省略して直ちに採決したいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者の声あり)

○議長(石橋 伸一君) 異議なしと認めます。よって、日程第3 議案第1号 令和2年度神崎町一般会計補正予算(第8号)についてを採決いたします。

本案を原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

○議長(石橋 伸一君) 挙手全員。よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣告

○議長(石橋 伸一君) 以上で本臨時会に付議されました案件は全て終了いたしました。

会議規則第6条の規定により、以上で閉会したいと思います。ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者の声あり)

○議長(石橋 伸一君) 異議なしと認めます。よって、令和3年第1回神崎町議会臨時会を閉会いたします。大変ご苦労さまでした。

(午前11時27分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和 年 月 日

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員